

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第1区分

【発行日】平成17年10月27日(2005.10.27)

【公開番号】特開2003-176181(P2003-176181A)

【公開日】平成15年6月24日(2003.6.24)

【出願番号】特願2002-224800(P2002-224800)

【国際特許分類第7版】

C 0 4 B	35/645
B 2 2 C	9/10
B 2 2 C	9/12
B 2 2 C	9/24
F 0 2 C	7/00
// B 2 2 F	3/10

【F I】

C 0 4 B	35/64	N
B 2 2 C	9/10	G
B 2 2 C	9/12	H
B 2 2 C	9/24	C
F 0 2 C	7/00	D
B 2 2 F	3/10	M

【手続補正書】

【提出日】平成17年7月27日(2005.7.27)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

セラミック中子を焼成する方法であって、
上記中子をセッター上に設置する段階と、
耐火性粒子を含む少なくとも1つの弾性耐火袋を上記中子の上に設置し、上記セッター
に向かうよう上記中子に力を加える段階と、
上記中子を周囲温度よりも高温の焼成温度に加熱する段階とを含む方法。

【請求項2】

複数の上記弾性耐火袋は、上記中子に対し異なる方向で、上記中子の上に設置される請求項1記載の方法。

【請求項3】

複数の上記弾性耐火袋は、上記中子の異なる位置で、上記中子の上に設置される請求項1記載の方法。

【請求項4】

上記耐火性粒子は焼結されたセラミック粒子を含む請求項1記載の方法。

【請求項5】

上記セッターはエアフォイル形状を有する表面を含み、
上記中子は、上記セッターの上記表面上に受容されるエアフォイル状の領域を有する請求項1記載の方法。

【請求項6】

上記中子は、約6インチより大きい長さを有する請求項5記載の方法。

【請求項 7】

上記セラミック中子は未焼成の中子である請求項1記載の方法。

【請求項 8】

上記セラミック中子は焼成された中子である請求項1記載の方法。